



大崎町長
東 靖 弘

豊かな自然が宝物

みんなで紡ぐ結いのまち

明けましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、夢と希望に満ちた平成29年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、皆さまの日頃からの町政に対する深いご理解とご協力に対し、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、熊本県や鳥取県の大地震や全国各地で発生した集中豪雨などによる自然災害をはじめ、国内外での痛ましい事件・事故や紛争などが日々報道されました。県内においても、9月に上陸した台風16号は大きな被害をもたらしました。局地激甚災害に指定されるような被害を受けた自治体もある中で、本町におきましては、幸いにも大きな被害はありませんでしたが、倒木による町道の通行止めや停電など、住民生活に大きな影響を及ぼしました。

一方、明るい話題としまして、8

月に開催されましたリオデジャネイロ・オリンピックでは、日本は史上最多の41個のメダルを獲得し、今回の東京オリンピック・パラリンピックに向けて大きな弾みがつきました。プロ野球界では、広島東洋カープが25年ぶりにセ・リーグ優勝を果たし、本町出身の松山竜平選手も中軸打者として活躍し、町民に感動を与えてくれました。また10月には、一昨年の大村智さんと梶田隆章さんの受賞に引き続き、大隅良典さんがノーベル賞を受賞されました。これで3年連続で日本人が受賞したことになり、日本人の能力の高さをあらためて認識したところでございます。

本県におきましては、来年のNHK大河ドラマが『西郷どん』に決定しました。『明治維新150年の節目の年に大河ドラマを』と、鹿児島県の熱心な誘致活動が実を結びました。県内では早くも観光客増加などの経済効果にも期待が

されています。併せて、『奄美群島を世界自然遺産に』という動きもあり、来年夏の登録を目標に準備が進んでいるようでもございます。本町は、昨年1月1日に町制施行80周年を迎え、2月の記念式典を皮切りに、夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会の公開放送、ふれあいフェスタなどの記念行事を行いました。これらの記念行事には町内外から大勢の方にお越しいただきました。特に、今年のおふれあいフェスタは豪華なゲストをお迎えしたこともあり、過去最高の人数でにぎわいました。

加えて、大崎町衛生自治会が第49回MBC賞を受賞するという、うれしい話題もありました。この賞は、産業・社会・文化・芸術・スポーツなどの各分野で、ふるさと鹿児島島の発展に貢献し、かつ将来を期待される個人・団体を支援する目的で創設されたものであり、本町のごみリサイクル・菜